

お悩み相談室

第7回 [学級づくりのヒケツが知りたい!]

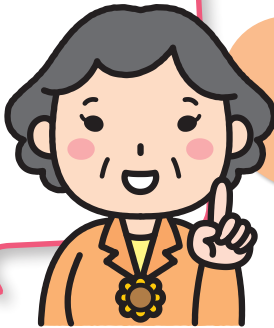
先生
のための

子ども一人ひとりが活躍し、まとまりのある学級づくりのポイントは3つ！

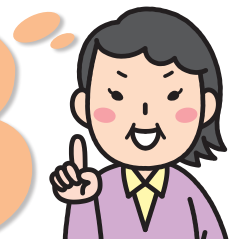
- ① 学び合い、高め合う働き (目標を実現する機能)
- ② 思いやり、支え合う働き (民主的な人間関係を築く機能)
- ③ ルールやまとまりの働き (集団規律を維持する機能)

この3つを意識し、具体的な取り組みを工夫しましょう。

子ども一人ひとりが「自分の得意」を発揮しながら生き生きと生活し、しかも、集団として団結力のある学級づくりの方策に悩んでいます。担任として子ども一人ひとりのよいところを把握し、それを生かしながら集団としてもまとまりのある学級づくりをするポイントを教えてください。



下の図のように、まず、目標が共有されていることが大切です。そしてその目標を実現するために、子ども一人ひとりが、自分はどうのようにどんな役割を果たせばよいかを自覚していることが大切です。このことが、自己肯定感や自己有用感を育むことにもなるのです。



目標

思いやられたり支えられたりすることは、気持ちが良いということを実感する経験を積み重ねさせましょう。

- ★目的をはっきりさせた協働作業の楽しさを味わわせる活動を工夫する。
- ★これらの思いの実感を相互に表現させ、価値づける機会を設定する。

子ども一人ひとりのことをよく理解し、子どもと子ども、子どもと先生が信頼し合う関係をつくる働きをしていきましょう！

- ★子ども一人ひとりのよさや可能性をつかむ。
- ★子どもの友だち関係をつかむ。
- ★個々のよさや可能性を認め合い、生かし合える関係をつくる活動を行う。



●自己有用感●

自分は友だちや学級のために役に立てている！

というやりの源。

●自己肯定感●

自分もなかなかやるなあ。チャレンジするぞ！

という意欲の源。

「学級は間違えたり、失敗したりしてもよいところ」という安心感を子どもがもてる雰囲気をつくり、一人ひとりが活躍する土壌をつくりましょう。

- ★思ったことや考えたこと、分からないことを自由に言える雰囲気をつくる。
- ★人を「否定する」ような言動は許されないことを徹底する。

“明確な目標”と “実現のための戦略”を磨こう!

学級
経営

目指す学級像

互いを尊重する意識

自分とともに友だちのよいところを見つけ、認め合い、支え合おうとする意識を高める手だて。

規律意識の高い集団

自分たちのために守るべきことを考えて決め、責任をもって行うための手だて。

生産性の高い集団

自分たちでよりよいものを生み出そうとする意識を高める手だて。

経営
戦略

“みんなが楽しい!”といえる学級づくりの戦略チェック!

該当する■をチェックしてみましょう。チェックを多くできると、達人への道が開けます!



- 朝や帰りの会で、自分や友だちのよい行いなどを互いに評価し合う活動を取り入れている。
- 「いじめ・いじわる・いやがらせ」は絶対に許さない、傍観も許さないという、人権侵害には厳しく対処することを毅然と示している。
- 一人ひとりの力や考えなどは異なっていて、それぞれのよさを合わせると大きな力が発揮できる体験を意図的に行っている。
- 学習作品などを相互評価し、優れたところを認めたり、活用し合ったりする活動を意図的に行っている。

なるほどね!

この考えに賛成!



- 「誰もが気持ちよく生活できる学級づくりのために!」という視点で、自分たちに必要な生活のきまりを考えさせ、自己責任をもたせている。



- 係や当番の役割について考えさせ、子ども同士、子どもと先生が「やるべきことを責任をもってやる」という合意形成を図っている。
- 何のために学習するのか、よりよく学び合うために必要なルールについて合意形成を図っている。
- 授業の始めと終わりの挨拶や発言のときの話型や姿勢などについて共通理解して実行させている。

- 学級の実態をふり返り、また、理想とする学級像を考えさせ、学級目標を子どもと一緒につづっている。
- 学級目標や生活目標など、その実現のために子ども一人ひとりに具体化のための目標を考えさせている。
- 学習や行事なども含め、実践をふり返り、よかったことや感動したこと、また、課題などを学級で共有している。



- 子どもの特性を踏まえて、リーダー性を発揮できるチャンスをあたえ、リーダーやサブリーダーを計画的に育てている。
- 授業の中に必ず複数人で説明し合ったり話し合ったりする活動を取り入れている。

これらのことは、いろいろな先輩の先生方も実践している事例の1つです。それぞれに意図がありますね。



上の3つの視点からバランスよく実践することで、個人や集団を大切にする学級づくりができます!



自分の実践をふり返り、チェックしてみましょう!